

向き合っ、学び合っ、未来をつくる下永谷

学校通信

4月号



し も な が や

令和4年4月7日 発行

横浜市立下永谷小学校

学校教育目標「向き合っ、学び合っ、未来をつくる下永谷」

校長 鈴木 陽一

4月に入り冬を思わせるような日が続きましたが、昨日は、春らしい日和の中、一年生131名が入学しました。本日の始業式には、2年生から6年生720名が、新しい学年に向けて、希望に燃えて目を輝かせながら登校してきました。全児童853名のスタートとなりました。ご入学・ご進級おめでとうございます。

今年度も学校目標「向き合っ、学び合っ、未来をつくる下永谷」に向かって、教育活動を工夫して進めていきます。対面での学習や活動もまだ制限があるかと思いますが、子どもたち同士が気持ちを向き合わせながら学びを創れるようにしてまいります。教職員も、子どもたちや保護者の皆様・地域の皆様と真摯に「向き合い」、子どもたちが「学び合える」学習の工夫を進めるとともに教職員自身も学び合っしていきます。そして、子どもたちの「未来」を保護者の皆様や地域の皆様とともにつくっていきたくと考えます。

また、ESDの推進も視野に入れた取り組みを行ってまいります。まずは、校内の自然を生かした教育活動を展開し、子どもたちが自然に触れあいながら子ども同士のかかわりを深められるような取組を工夫していきたくと考えています。それらの活動を通して、自然環境や環境問題などにも目が向けられたらと考えます。

そして、昨年度一人一台端末が貸し出されるとともに、昨年度後半には、校内のWi-Fi環境も整備改善されました。今年度は、デジタル教科書の実証事業として5・6年生の外国語活動の教科書としてデジタル教科書が配当される予定になっています。その他の教科においても教師用のデジタル教科書を有効に活用していくなど、ICTを活用した学習をさらに推進していきます。

とはいえ、子どもの健やかな成長を育みより良い学びを進めていくためには、保護者の皆様と学校の教職員そして地域の皆さんとが連携協力していくことが大切かと思ひます。子どもたちは期待を胸に抱いての学校生活の出発となりますが、お子さんも保護者の皆様も不安を抱えているかと思ひます。何かご不安なことがありましたら、担任だけでなく児童支援専任をはじめ教職員の誰でも構いませんのでお声掛けください。ともに考え解決していきたくと思ひます。

教職員一同、保護者の皆さんや地域の皆さんとともに子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。ご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。